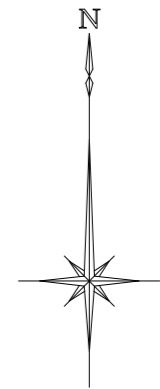


土地利用計画図

特定用途制限地域（一般・環境保全型）
予定建築物の用途：一戸建ての住宅



開発許可
年月日

第 令
和
年
月
日
号

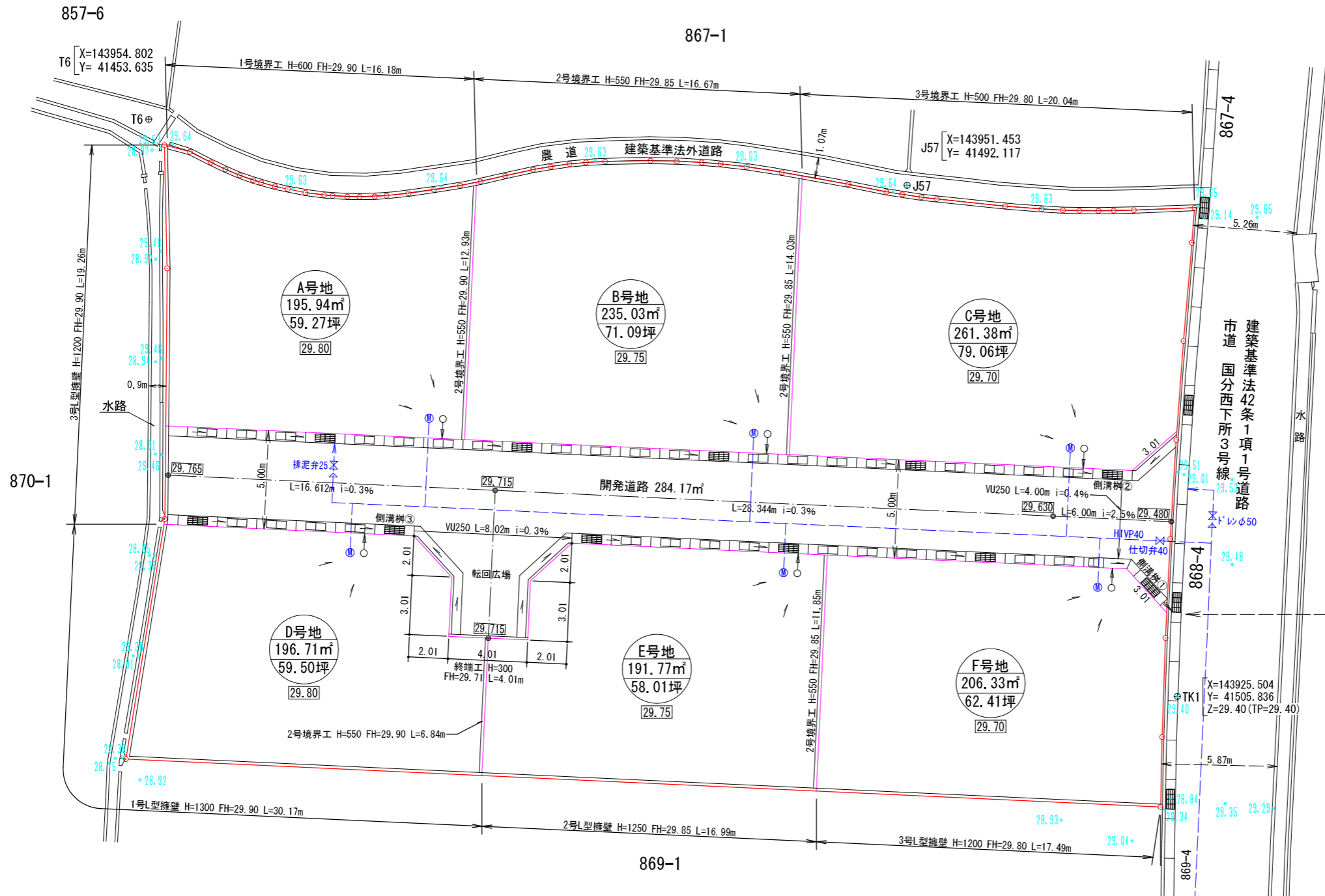
申請者

株式会社アルファード
代表取締役 七條政志

作成者
住所・氏名

高松市伏石町二七四番地一五
行政書士 松澤人史

印



最終放流先	
水路	天 29.440
計画管底	28.945
通常水位	28.940
水路底	28.940
勾配	2%
管種	VU
管径	0.250
管延長	0.600

凡例

	雨水最終樹φ350（泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下） VUφ150 i=1%
	引込管VP200 メータ13mm
	流水方向
	開発区域
	FV側溝（自由勾配側溝300）
	グレーチング T-25（側溝樹グレーチング T-25）
	L型側溝

- (注記)
- VU管理設場所につき、車載部で土被りが0.6m以下の部分はコンクリート保護を行うこと。
 - 地表水を集水する樹はグレーチング又は穴空きを設置すること。
 - 地表水及び排水を集水する樹は泥溜を15cm以上確保すること。
 - 埋設管の交差箇所は30cmのクリアランスを設ける。
ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低10cmとする。
 - 街渠樹、側溝樹は泥溜を15cm以上確保すること。
 - 画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
 - 画地内の整地は最終樹に表面雨水が集水するよう仕上げる。
 - L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないように施工する。
 - 開発協議は最終樹から一次放流先までとする。
 - 開発道路内には電柱を設置しない。
 - L型側溝は雨水が滞留しないよう施工すること。
 - 擁壁にはフェンス等を設置しない。
 - 家庭用汚水は合併浄化槽を経由し宅内樹を経て放流する。